

特定非営利活動法人「ビレジサポート」（以下、VS）の「平成 28 年度通常総会」が、5 月 29 日（日）に柏ビレジ自治会館ホールにて開催されました。今回は、これまでの最高となる 50 名を超える会員の方々が出席、予定の議題も無事に承認、新年度の活動体制も決定しました。本号では、総会の議案に沿ってご報告させていただきます。

ビレジサポート 会員ニュース

第 9 号
2016.6.22

発行：
NPO法人 ビレジサポート

会員数 294 人
＜内賛助会員 53 人＞
平成 28 年 5 月末 現在
(平成 27 年 3 月末：233 人)



新理事長 挨揶

理事長 林 忠男

5 月 29 日（日）に開催された総会に続く理事会で、理事のみなさんに推挙され、ビレジサポート（以下 VS）第 2 代目の理事長に就任することになりました。非力ではありますが、VS の繁栄を目指して邁進したいと存じます。VS は街の中の「困った問題」の解決に少しでもお役にたきたいとスタートして約 4 年、今年の目標では、助け合い活動が年 240 件とほぼ毎日 1 件、庭木剪定活動（活動時期が限定されている）の年 100 件は 1 週間に 2～3 回出勤と、VS が完全に街に定着しつつあります。昨年 7 月より、街の商店街の一角に事務所を開き、この IVY-LABO でも、もっと人が集まってくれるような企画を実行しようと計画しています。ご期待ください。今後ともご協力よろしくお願いします。

平成 28 年度「通常総会」特集

1、平成 27 年度活動実績

- (1) 助け合い活動 実施件数 210 件（前年比 1.37 倍）
協力員延人数 520 人（同 2.15 倍）
- (2) 環境保全活動 実施件数 98 件（前年比 1.23 倍）
（庭木剪定作業） 協力員延人数 536 人（同 1.33 倍）
- (3) 各種の新しい活動
 - ①ビレジ内緑道管理（清掃・除草・中木剪定）ー柏市から受託
 - ②大槌町海産物加工品販売ー東北復興支援、買物支援
 - ③柏の葉キャンパス地域で、遊歩道管理、パラソル開閉管理
 - ④同上地域での、健康ステーション「あ・し・た」の運営管理
- (4) 地域イベントの開催 …800 名もの来場で交流が進む
6 月「ワイワイフェスタ」・12 月「ファミリークリスマス」
→「柏ビレジ・イベントサークル」を結成、運営を移行済
- (5) IVY-LABO への事務所移転
平成 27 年 7 月、事務所をそれまでお世話になった F さん宅から、ビレジ商店街の一角にある IVY-LABO へ移転。自治会、それまでの運営を行っていた IVY-LABO チームとの協議を重ね、「IVY-LABO をコミュニティー・スペースとして、従来の理念を継続すること」を前提に、平成 28 年 4 月には東急コミュニティーと正式に「賃貸借契約」締結し、運営を継承した。

2、平成 27 年度 決算報告（監査報告／承認）

単位：千円

貸借対照表（平成 28 年 3 月末）

科目	金額	科目	金額
現金	47	未払金	239
預金	2,631	前受金	312
未収入金	384	流動負債 計	551
貯蔵品	78	固定負債 計	0
前払い金	389	前期繰越正味財産	123
流動資産 計	3,529	当期正味財産増加額	0
		事業活動予備費積立金	1,055
固定資産 計	0	事業所対応積立金	1,800
		正味財産 計	2,978
資産合計	3,529	負債及び正味財産合計	3,529

損益計算書（年間）

科目	金額
会費	317
寄附金	56
助成金	250
事業収入	5,714
その他	3
事務所対応積立金から繰入金	250
収入 合計	6,590
事業費	4,949
管理費	586
事業活動予備費積立金	1,055
費用 合計	6,590
税引前当期正味財産増加額	0

3、平成 27 年度 役員選任（承認）

理事全員、及び監事の任期満了に伴う新役員の選任を承認。

（敬称略）

理事：井原 久夫（留任）
古関 麗子（留任）
古田島美江子（留任）
佐々木正文（留任）
鳴浜 祥之（留任）
戸谷 文治（新任）
林 忠男（留任）
榊田 裕子（留任）
宮定 俊作（新任）
矢川 一忠（新任）
保田 将臣（留任）
監事：木村 史朗（留任）

尚、総会後の理事会での互選により、理事長に林忠男、副理事長に井原久夫、副理事長（会計担当）に佐々木正文の各氏が就任しました。

■ 平成 28 年度の活動方針

● 基本的な方針

- 1、VS に係わるみんなが、明るく・楽しい気持ちに！
- 2、持続性が大事です。
- 3、安定した活動…財政基盤の強化・会員数の増加。
- 4、IVY-LABO の活用

● 具体的施策について

1、助け合い活動

①平成 28 年度の目標値

活動件数 240 件（前年比 1.14 倍）
協力員延人数 600 人（同 1.15 倍）

②活動計画

- ・Face to Face による心のこもったサービスの向上を目指し、利用者の増加を図る。
- ・口コミや広報により、協力員及びスタッフの着実な増加を図る。
- ・事務所スペースの活用により、若い家庭や子供が関心を持つサービスを考案する。

2、剪定サービス部

①平成 28 年度の目標値

活動件数 100 件（前年比 1.05 倍）
協力員延人数 560 人（同 1.05 倍）

②活動計画

- ・リーダーの増員と 2 チーム制で運用
- ・技術専門要員を中心に、剪定技術の向上促進
- ・ビレジ住民に信頼される確実な仕事の推進

3、事業開発部 活動計画

- ・健康研究所「あ・し・た」業務管理の充実化
- ・キャンパス駅西口ロータリー、及び周辺地域諸管理業務の拡大
- ・2 号調整池高質化計画に伴う受託業務の拡大
- ・海産物等の販売事業の着実な進展

■ 平成 28 年度の予算

単位：千円

科目	金額
会費	305
寄附金	0
助成金	100
事業収入	6,545
その他	615
収入 合計	7,565
車代	3,634
商品仕入れ	1,095
その他経費	1,000
事業費 計	5,729
車代	769
事務所家賃	389
光熱給水費	240
その他経費	344
管理費 計	1,742
費用 合計	7,471
税引前当期正味財産増加額	94

今年度からは、IVI-LABO の運営を VS が担うこととなり、家賃、運営スタッフの車代等の負担が増加しますが、各事業の堅実な成果をベースとして、期中の収支戻は黒字を確保できる見通しです。本来の「助け合い事業」の推進、継続の基盤は確保されています。

総会終了後、ワンコイン「懇親会」を開催、今総会を持って退任した浜崎前理事長の他退任理事の皆さんがご挨拶されました。誠にお疲れさまでした。又、VS の将来への期待についての意見交換もなされ、和気藹々の内に散会となりました。



4、総務部 活動計画

- ①「広報紙」「会員ニュース」発行、パンフレットの改訂、IVY-LABO 拠点の広報活動（広報 G）
- ②会員相互のコミュニケーション向上、公式会議の円滑運営、NPO 保険見直し（総務 G）
- ③IVY-LABO を「コミュニティスペース」として有効活用、受付要員の増員と多機能化

■ 2016 年度 新体制

< ビレジサポート 組織図 >

